

文化財めぐり

下松市

今から約1400年前、下松は青柳浦と呼ばれ、百濟との交易も行われたと伝えられる港として栄えてきました。

七星降臨のロマンの語られる北辰妙見信仰は、各時代を通じて下松の文化風土形成の土壤となっています。

古代は、市内の低丘陵地を中心に縄文・弥生・古墳時代の遺跡等があり、中世には、鷲頭・大内・毛利各氏興亡の地となりました。近世になると、都濃率判勘場のあった花岡は山陽道の門前宿場町として繁栄し、この地方の文化・行政の中心地となりました。

下松市には、このような歴史的変遷や地理的背景に相応する各時代の特徴を示した文化遺産が現存しています。



県指定有形文化財
①金銅如意輪
觀音菩薩半跏像

昭和41年6月10日指定
【所在地】下松市花岡高橋
【所有者】日天寺

総高19.5cm、重量4.5kgの鋳銅物で、白鳳時代(7世紀後半)の製作とされる。宝髪をつくり、三面飾の宝冠をいただき垂髪を両肩に垂れ、上半身裸体にして裳をつけ、右手を頬に当て、右足を半跏して足首を左股の下においている。

台座はほぼ方形、飛鳥時代の仏像にも通ずる古さが見られ、無垢の童顔には1300年前の古く清浄な心がじみ出ている。



県指定有形文化財
②星宿図
(寺伝須弥山図)

昭和52年3月29日指定
【所在地】下松市生野屋宮本
【所有者】多聞院

本図は古くから須弥山図として、生野屋の松尾八幡宮に伝えられ、明治の神仏分離とともに同宮の坊多聞院に移された。

木造で高さ48.1cm。最下段は方形台、上四段は円筒形で各段の側面と最下段の底面に白土下地し、極彩色で図像を描く。鎌倉初期の作といわれている。



県指定無形民俗文化財

③切山歌舞伎

昭和51年3月16日指定
【所在地】下松市久保切山
【保持団体】切山歌舞伎保存会

江戸時代の宝曆初めごろ、切山亥ノ迫の長重良が京参りの帰途大坂竹本座の人形淨瑠璃や歌舞伎芝居を見て感銘し、長男の三四良を大坂に歌舞伎の修行に行かせ、村の若い衆を集めて歌舞伎を教えたのが起源とされている。

現在は、下松市の切山八幡宮の秋季例祭などで上演されている。



国指定重要文化財

①閼伽井坊多宝塔
附 棟札(五枚)

多宝塔 明治40年5月27日指定
棟札 昭和54年2月3日指定
【所在地】下松市花岡戎町
【所有者】閼伽井坊

この塔は藤原鎌足の建立16塔の一つと伝えられているが、建築様式や装飾棟札から室町時代中期から後期にかけての建造と推定される。

また昭和3年解体修理の際「永禄三庚申年」(1560)の墨書きされた棟札が発見され、建立年代を知る上で貴重な史料である。



国指定重要文化財

②三角縁盤龍鏡／三角縁神獸鏡

昭和30年2月2日指定
【所在地】東京国立博物館 【所有者】国(文化庁)

三角縁盤龍鏡は、径24.4cm、重量約2kgで、蒂銘があり魏晋間の王氏作と推定される。

陸繫砂州の上にあった宮ノ洲古墳より享和2年(1802)に他3面の鏡とともに発掘された。古墳研究に欠かせない学術的価値の高いものである。

下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ

郷土資料の閲覧・全文検索

歴史民俗資料の画像閲覧

文化財の高精細画像閲覧



閲覧は下松市立図書館ホームページからどうぞ！

問い合わせ ☎ 0833-41-0093

下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」

主に市内で出土した埋蔵文化財や、古民具、古写真、地域の産業資料、下松市の歴史や指定文化財の紹介その他を展示収蔵しています。

所在地

下松市大字笠戸島32-38 (旧江の浦小学校)

開館日時

火・木・土・日・祝日
10:00 ~ 16:00
都合により臨時休館の場合があります。

入館料 無料



問い合わせ ☎ 0833-52-0860

下松市教育委員会生涯学習振興課 ☎ 0833-45-1870

市指定有形文化財 ① 破邪の御太刀 下松市指定第1号 昭和48年9月22日指定
【所在地】下松市花岡戎町【所有者】花岡八幡宮



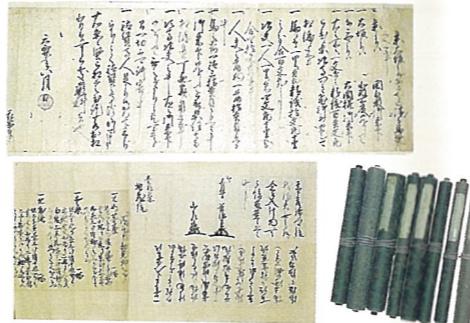
市指定有形民俗文化財 ③ 絵馬 下松市指定第3号 昭和48年9月22日指定
【所在地】下松市花岡戎町【所有者】花岡八幡宮



安政6年(1859)、東肥菊地延寿園村27代末孫三光軒北辰子国綱の作。刃渡り345.5cm、重量75kgの大太刀である。

市指定有形文化財 ② 花岡八幡宮文書

下松市指定第2号 室町時代末期～安土桃山時代の古文書(計60通9巻)である。
昭和48年9月22日指定
【所在地】下松市花岡戎町
【所有者】花岡八幡宮



市指定有形文化財

⑨ 紹本淡彩 妙見社参詣図

下松市指定第9号 文化5年(1808)、法眼信喬の作。当時の鷲頭山、妙見社の上宮・中宮および若宮・鷲頭寺の境内の様子と参詣人を描いたものである。
昭和61年9月30日指定
【所在地】下松市中市
【所有者】妙見宮鷲頭寺



市指定天然記念物

⑫ 東光寺泉所寺のヤマザクラ

下松市指定第11号 平成19年5月1日指定
【所在地】下松市桜町
【所有者】泉所寺

目通り周囲約2.9m、高さ約15mで、東光寺観音へ登る石段側にある。



市指定有形文化財

④ 鰐口

下松市指定第5号 宽永元年(1624)に奉納された。
昭和51年6月29日指定
【所在地】下松市花岡戎町
【所有者】花岡八幡宮

面径36.3cm、面厚17.8cm
と比較的大形の銅製鏡。宽永元年(1624)に奉納された。



市指定有形文化財 ⑦ 千手觀音菩薩立像

下松市指定第6号 昭和51年6月29日指定
【所在地】下松市梁
【所有者】關伽井坊

平安末期の藤原時代の作と推定される。明治初年に關伽井坊に移され、現在は梁觀音堂に遷座されている。



市指定有形文化財

⑤ 木造八幡宮扁額

下松市指定第7号 昭和61年9月30日指定
【所在地】下松市花岡戎町
【所有者】花岡八幡宮

額は3つあり、各々中央に大きく「八幡宮」の文字を中高に彫出してある。長享3年(1489)に奉納された。



市指定史跡

⑪ 天王森古墳

下松市指定第15号 全長4.5mの前方後円墳で6世紀前半の築造と推定される。当時この地方を支配していた「都怒國造」の首長たちの墓の一つと考えられる。
平成29年12月19日指定
【所在地】下松市天王台



市指定有形文化財

⑥ 銅造神馬

下松市指定第8号 銅造の牡馬で、体長217cm。静止の姿をほぼ実物大に铸造されている。文化3年(1806)に奉納された。
昭和61年9月30日指定
【所在地】下松市花岡戎町
【所有者】花岡八幡宮



市指定史跡

⑧ 宮原古墳

下松市指定第4号 巨石で築造された羨道・玄室等をもつ古墳時代後期の片袖横穴式石室墳である。
昭和48年9月22日指定
【所在地】下松市和田宮原

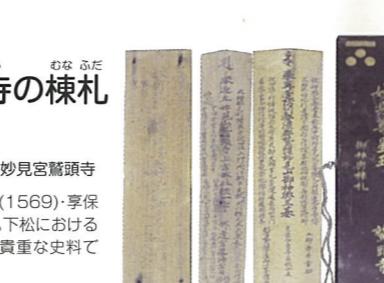


市指定天然記念物

⑬ 降松神社若宮のヤマザクラ

下松市指定第10号 平成19年5月1日指定
【所在地】下松市河内吉原
【所有者】降松神社

目通り周囲約2.7m、高さ約10mで降松神社若宮の石段側にある。



市指定有形文化財

⑩ 妙見宮鷲頭寺の棟札

下松市指定第12号 平成21年9月24日指定
【所在地】下松市中市
【所有者】妙見宮鷲頭寺

永禄4年(1561)・永禄12年(1569)・享保2年(1717)の棟札3枚がある。下松における北辰妙見信仰に関する最古の貴重な史料である。

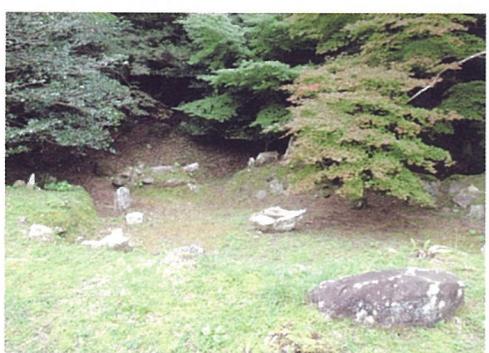


市指定天然記念物

⑯ 花岡御茶屋ノ槇柏

下松市指定第14号 平成28年10月3日指定
【所在地】下松市花岡東町
【所有者】下松市

幹周約3.2m、高さ約12mの巨木である。江戸時代に都濃郡宰判の勘場及び御茶屋があった場所にそびえており、市指定文化財「絵馬」にも描かれている。



市指定名勝

⑭ 旧内藤家庭園

下松市指定第13号 平成28年10月3日指定
【所在地】下松市米川瀬戸

内藤家の伝承によると、「雪舟の弟子による作庭で、池泉は“心字池”と称した」とある。全体的に地割はゆったりとして、奥行きのある庭園構成といえる。

国指定重要文化財

① 関伽井坊多宝塔 附 棟札(五枚)
② 三角縁盤龍鏡・三角縁神獸鏡・
内行花文鏡

県指定文化財

① 金銅如意輪觀音菩薩半跏像
② 星宿図(寺伝須弥山図)
③ 切山歌舞伎

市指定文化財

① 破邪の御太刀
② 花岡八幡宮文書
③ 絵馬
④ 鰐口
⑤ 木造八幡宮扁額
⑥ 銅造神馬
⑦ 千手觀音菩薩立像
⑧ 宮原古墳
⑨ 紹本淡彩妙見社参詣図
⑩ 妙見宮鷲頭寺の棟札
⑪ 天王森古墳
⑫ 東光寺泉所寺のヤマザクラ
⑬ 降松神社若宮ヤマザクラ
⑭ 旧内藤家庭園
⑯ 花岡御茶屋ノ槇柏

